

団体（青梅市）

青梅市東青梅 1-11-1

青梅市そさい振興会 有機農業部会



1 主な販売品目

農産物名	希望取引時期
ハウレンソウ	5月上旬 ～ 6月下旬、10月中旬 ～ 2月下旬
ジャガイモ	5月中旬 ～ 7月中旬、10月中旬 ～ 12月下旬
スイートコーン	6月 ～ 7月

2 販売場所

- ・かすみ直売センター（JA 西東京） ほか

3 青梅市の農業

（１）織物のまち「青梅」

青梅の歴史は古く、弥生時代には市内を流れる霞川流域で稲作が行われ、東京でも最大級の集落が形成されていたそうです。江戸時代には青梅街道も整備され、石灰や木材など様々な産物が江戸へと運ばれていました。一方、農業は養蚕が盛んでした。この地方で織られていた、縦糸に絹と綿を、横糸には綿を使った縞柄の「青梅縞」が大流行しました。現在も続く「青梅だるま市」も、元々は養蚕の繁栄を祈った祭りから発展したものです。

（２）青梅の農業

現在でも農業は盛んで、都内では珍しい水田や、果樹園も多く残っており、多種多様な作物が生産されています。また、東京都農林総合研究センター（旧東京都畜産試験場）もあり、畜産が盛んな地域です。市内で飼養されている牛・豚・鶏も多く、優良な畜糞堆肥が生産・利用されています。



かすみ直売センター（JA 西東京）



地場産の食材が並びセンター内

4 青梅市そさい振興会 有機農業部会

(1) そさい振興会・有機農業部会の概要

青梅市そさい振興会は、昭和43年4月に青梅の野菜の生産振興を目的として設立され、青梅市農業祭や青梅農商工祭への参加、野菜の品評会なども行っています。また、青梅市では学校給食に「青梅産の野菜の日」が設けられており、振興会員で組織された給食部会員が生産した食材が活用されています。

有機農業部会は、平成7年9月に9名のメンバーで発足しました。これは、東京都の推進する「有機農業モデル生産団地」として始まったもので、資材の共同購入や年数回の会議での農業技術の情報交換を行いながら、安全・安心な野菜作りに取り組んでいます。



会員の写真を掲示（センター内）

(2) 今まで、これからも…

これまでの減農薬・減化学肥料の取り組みは、決して楽なものではありませんでした。しかし、学校給食や直売所などを通して頂いた暖かい声に応えるためにも、普通に作ったものではなく、ひと手間かけたものを皆さんに食べて頂きたいと考えて作物を育ててきました。私たち有機農業部会員は、これからも顔の見える生産者として、誇りを持って皆さんに、自分たちの育てた野菜をお届けしたいと思います。

5 連絡先

(1) 電話番号 0428-22-1111 内線 2349（青梅市農業委員会）



定例会の様子



会員の育てたボウレンソウ